

WALLZET AIRLOAK

クロゼットシステム収納 [ウォールゼット エアローク] 取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガやけど・感電などをさす。

(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



● **製品の上には乗らない。**

棚板の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。



● **ハンガーパイプやフックハンガーにぶらさがらない。**

ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。



● **リフトハンガーは持ち手をしっかり持って上げ下ろしする。**

服を掛けていないか、シャツなど比較的軽い服が掛けてある状態のとき、パネの力が強いので、持ち手を降ろした状態で手を離すと急に跳ね上がるため危険です。

※服を多く掛けると、重さでパネに負担がかかり跳ね上がりを抑えます。また上げ下ろしの操作がしやすくなります。

※バーを下げる際に途中で止めたり、下げきった水平状態で止めることはできません。



● **昇降ユニットに手を入れない。**

リフトハンガーの昇降ユニットに手や指を入れないでください。指をはさんでケガをするおそれがあります。



● **耐荷重の目安を必ず守る。**

棚板やハンガーに過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起り、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。(裏面、「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



● **製品に水をかけない。**

本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● **粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。**

表面に粘着跡がのこるおそれがあります。



● **製品にシンナーなどの溶剤を付着させない。**

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようにご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。



● **暖房器具などを近づけない。**

暖房器具などから発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り・割れ・変色の原因となります。



● **製品に潤滑油をささない。**

昇降ユニットの可動部などに潤滑油を塗布しないでください。動作不良を起こすおそれがあります。

ステンレス素材について (対象パーツ：網棚)

- ステンレスは鉄と比べて、強度が強く錆びにくい性質を持っていますが、表面は傷がつきやすいので取り扱いにはご注意ください。
- ステンレスは素地のまま(塗装なし)で使用しますので、清掃の際には **お手入れ** の内容を守ってご使用ください。
- 濡れた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが発生(もらいサビ)することがあります。
- 鉄やアルミなどの異種金属製品と接触させたまま長時間放置すると、サビの原因となりますのでご注意ください。

お手入れ

● **日常のお手入れ方法** 乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● **汚れがひどい場合**

木質 中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、良く乾燥させる。

ステンレス 市販されているステンレス専用クリーナーなどで磨く。
※金属たわしやナイロンたわしなどは傷がつくので使わないでください。

● **換気をする。**

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

● **油やインクに注意する。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

棚板／網棚(可動・固定)の移動・取り付け

棚板／網棚は可動棚受金具にて取り付けしている箇所(可動)と、樹脂金具にて取り付けしている箇所(固定)があります。下記を参照にして移動・取り付けを行なってください。

棚板(可動)の場合

【棚板の取り外し】 可動棚受取付箇所 前後2箇所×左右

棚板を上を持ち上げて取り外した後、前後の可動棚受金具を取り外してください。

【棚板の取り付け】
【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

ご注意

- 使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 可動棚受前用には前右・前左があり、形状が異なりますので取り付け時ご注意ください。

棚板(固定)の場合

【棚板の取り外し】 樹脂金具取付箇所 前後2箇所×左右

①現在取り付けしている棚板下部の樹脂金具のキャップをあげてください。

②バインドビスL=16をプラスドライバーで左に回し、棚板を取り外してください。

ご注意
棚板の落下にご注意ください。

【棚板の取り付け】
【棚板の取り外し】の逆の手順で行なってください。

ご注意

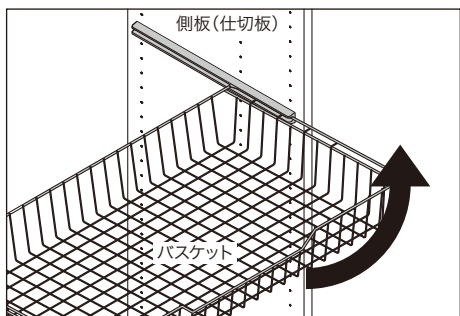
- 取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。
- 樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。
- バインドビスL=16の締め過ぎにご注意ください。ビスが空回りすると、保持力が無くなり収納の強度を保てなくなる可能性があります。

ご注意

- 壁に接する列(右図①)は1列に棚板(固定)を1枚以上設置してください。その他の列(右図②)は1列に棚板(固定)を2枚以上設置してください。
- 設置高(その他の列(右図②)のみ)は1枚目の棚板は側板・仕切板からA位置まで、2枚目の棚板はA位置以上の位置に設置してください。
※壁に接する列(右図①)は設置高の制限はありません。
- ハンガーパイプを取り付ける場合は、上部に各棚板(固定)を設置してください。
- フレーム引出しを取り付ける場合は、上下に1枚ずつ必ず棚板(固定)を設置してください。
- バスケットを取り付ける場合は、上下に1枚ずつ必ず棚板(固定)、網棚(固定)のいずれかを設置してください。

バスケットの取り外し

バスケットの手前を持ち上げながら取り外してください。



フックハンガーの設置位置について

ご注意

上段のハンガーパイプ1本に対して1セットのフックハンガーを設置してください。2セット以上を設置すると強度を保てない可能性があります。

幅が狭いフックハンガーの場合、上段のハンガーパイプの端に設置してください。中央に設置すると上段のハンガーパイプがたわむおそれがあります。

耐荷重の目安値

表示のkg数以下の荷重でご使用ください。

部材名	間口	荷重範囲
棚板(可動・固定兼用)	900mm以内	20kg以内
フリーカット棚板	最大1300mm	20kg以内 必ず固定してご使用ください。
網棚(可動・固定兼用)	450・800mm	20kg以内
ハンガーパイプ	1300mm以内	30kg以内 フックハンガーありの場合20kg以内
フックハンガー	1000mm以内	10kg以内

部材名	間口	荷重範囲
リフトハンガー	600~1000mm以内	7kg以内
スライドハンガー	—	5kg以内
フレーム引出し	450・600・800mm	10kg以内 引出し1段あたり
スラックスハンガー ギャラリケース	600・800mm	5kg以内 1段あたり
バスケット	450・800mm	5kg以内 バスケット1段あたり